公共政策大学院チーム

Bloomberg の利用について

〇Bloomberg の利用を希望する学生は、事前に大学院チームの窓口に行き、利用申請書及び利用規約に基づく誓約書を提出して下ください。なお、予め公共政策大学院の教員（指導教員、授業担当教員）の承認が必要です。
※申請書等を提出しないで利用した場合、該当学生は PC 室の全ての PC について、利用を一時停止します。

〇PC にログイン後、緑の Bloomberg アイコンをクリックし、Enter で、ログイン・パスワードを入力すれば利用できます。ログインがない方は、上記の申請書等の提出後、ログインを新規作成により、各自で自分のログインを作成してください。

〇1台は、1日あたり 50 万データ、1 か月あたり 5000 銘柄に制限されているので、大量のダウンロードは避けること。

〇マニュアル Bloomberg ログイン後に、BPS<go>→地域別→アジア太平洋→日本語マニュアルで PDF のマニュアルがとれます。
また、Bloomberg 主催のセミナーもあるので、SMNR で探して参加できます。

〇プリンター接続はないので、プリントする場合は、必要なデータを USB 等にダウンロードして各自でプリントしてください。

〇データの取得が円滑に行えるよう、利用に関しては学生間で調整してください。（長時間の占有は控えてください。）

※データベース利用規約
【対象者】
東京大学公共政策大学院教員（指導教員、授業担当教員）が承認した大学院生
【利用目的】
大学院在学中に作成する研究論文等での使用に限定する。ただし当該論文等の公刊・公表が本大学院を修了（在籍しなくなった）後でも可。
【記載義務】
公刊・公表される論文には東京大学金融教育研究センター（CARF)が所蔵するデータベースを利用したことを必ず記載すること。
【利用制限】
本大学院の在籍期間中に限る。
【データ流布の禁止】
利用期間中でも、期間終了後においても、データの利用は当人かぎりとし、他者に閲覧させる、他者に譲渡・複写させる、ネットに掲載してダウンロードできるようにするなど、利用許可のない者がデータを利用したり、アクセスできるようにしてはならない。
※データをハードディスク、USB メモリー、リムーバブル・メディアなどに保存して利用している場合は、利用許可期間が経過したら、すべての原データを削除すること。雑誌論文等に投稿する場合、データの利用可能性（研究結果の再現可能性）が問題になる場合であっても、特別の許可がある場合を除いて、CARF から貸与されたデータを個人的に所蔵することはできない。CARF 所蔵データは、一般に公表され、広く入手が可能な物であるから、雑誌のエディターなどから、データの利用可能性が問われた際には、CARF に連絡すること。